

ーアンケートを回答いただく前にお読みくださいー 相模原市のごみ処理の現状と課題

家庭ごみの流れ



①ごみ集積場所
(約20,000箇所)



②ごみ収集車で回収
(約112,000トン/年)



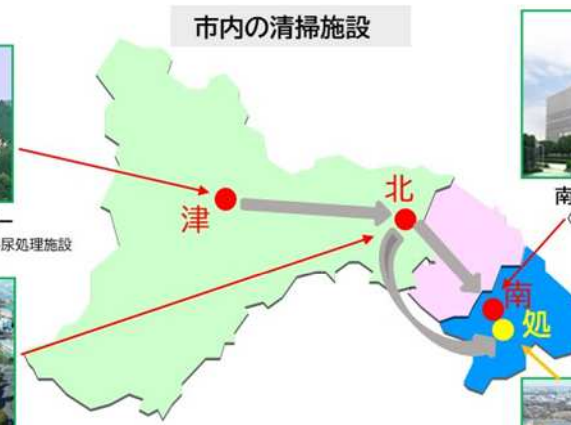
③清掃工場で焼却
(事業系ごみ含め約176,000トン/年)



④最終処分場へ埋立
(約19,000トン/年)

燃やした後の灰

そういえば、自分が出したごみが
どうなって、どこに行くのか
考えたことがないな



Q 今の最終処分場はいつまで使えるの？

このままのペースで埋め立てていくと、2037年(令和19年)には満杯になってしまう見込みです。

Q 次の最終処分場は？

現在の最終処分場の広さは東京ドーム2個分。市では、次の最終処分場について検討を進めています。緑区根小屋(2か所)と南区麻溝台(2か所)を候補地としていますが、このような広大な土地を市内に確保することはとても難しく、最終処分場の今後についてはたいへん重要な課題となっています。

Q わたしたちは何をすべき？

相模原市は、政令指定都市の中でも1人あたりの家庭ごみ排出量が多く(右の図2)、ごみの中には資源としてリサイクルできるものが約30%も含まれています。(左下の図1)

ひとりひとりがごみを減らし、今の最終処分場を少しでも長く使うことが大切です。

ごみを減らすための4R(←アンケート内に説明あり)の取り組みにご協力をお願いします。

ごみは少しずつ減っていますが、将来のためにも
もっともっと減らさなければなりません！



図2 令和5年度 政令指定都市の家庭ごみ排出量比較
(1人1日あたり)

ごみ集積場所に出された
家庭ごみの中には、まだ

30%の資源が
含まれています。

～混ぜればごみ 分ければ資源～

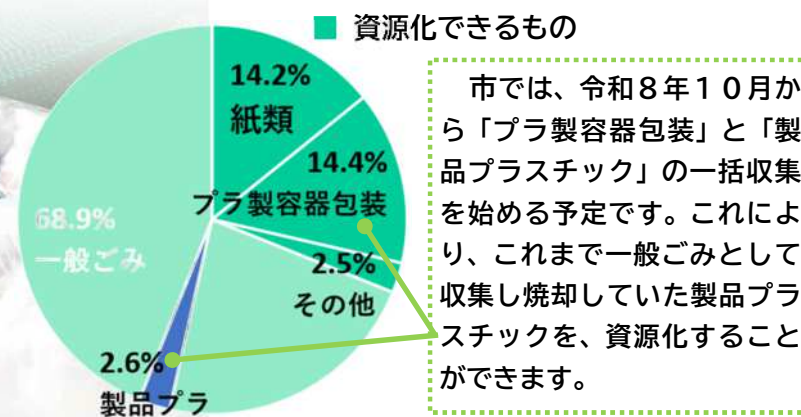


図1 家庭ごみを調べた結果(令和6年度)

市では、令和8年10月から「プラ製容器包装」と「製品プラスチック」の一括収集を始める予定です。これにより、これまで一般ごみとして収集し焼却していた製品プラスチックを、資源化することができます。

「ごみを減らす」「今の最終処分場を長く使う」ための市の取り組み

市では『ごみDE71大作戦』を通じて、学校やイベントなどでごみを減らすことの大切さを伝えたり、資源化やプラスチックごみの削減、清掃工場の灰から溶融スラグをつくり、道路の材料として再利用するなど、様々な取り組みを進めています。



アンケートへのご協力をお願いします。



相模原ごみDE71大作戦
マスコットキャラクター
「レモンちゃん」